

会議録

1 附属機関の名称

犬山市在宅医療介護連携推進協議会

2 開催日時

令和3年2月25日～令和3年3月12日

※書面での意見徴収期間

3 開催場所

書面での会議

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、書面でのやりとり形式で実施

4 出席した者の氏名

(1) 委員

安藤 通泰	委員	(尾北医師会犬山支部)
板津 孝明	委員	(#)
桑原 生秀	委員	(#)
鈴木 欣宏	委員	(#)
杉浦 隆	委員	(犬山扶桑歯科医師会犬山支部)
原 宏太郎	委員	(尾北薬剤師会犬山支部)
水野 美緒子	委員	(訪問看護ステーション)
大澤 敬太	委員	(医療機関ケースワーカー)
多治見 恵	委員	(犬山市介護サービス事業者協議会 介護事業所)
村上 貴宣	委員	(犬山市介護サービス事業者協議会 介護支援専門員)
武藤 知恵	委員	(犬山市内地域包括支援センター)
大蔵 真弓	委員	(尾北医師会地域ケア協力センター)
彦田 聖士	委員	(愛知県江南保健所)

(2) 執行機関

健康福祉部 高齢者支援課

5 議題

- (1) 在宅医療介護連携推進事業について
- (2) 認知症施策について
- (3) その他

6 傍聴人の数

書面会議のためなし

7 内容

(1) 犬山市在宅医療介護連携推進協議会名簿について（資料1）

委員の変更に関する報告

(2) 在宅医療介護連携推進事業、令和2年度尾北医師会在宅医療介護連携推進事業について（資料2、3）

犬山市、尾北医師会管内における在宅医療介護連携推進事業に関する報告

<委員からの意見>

- 協議会等の開催も本年はコロナ禍によりなかなか難しい状況でしたが、Zoom等によるWeb開催で可能であれば利用して実施していければと思います。
- 今まで各種会議で出された医療・介護連携に関する地域課題の一覧を拝見したいです。それらを念頭に置きながら日々活動をしていけばなにかの解決のヒントが見つかるかもしれないと考えております。
- コロナ対策に追われる中、いろいろと工夫を重ねて事業を進めて頂きありがとうございます。
- 今年度はオンラインでの研修が多く、多くの研修に参加ができ、いろいろなことを学ぶ機会をいただいたと思っています。オンデマンドのため訪問の間での時間に学習ができ良かったと思います。今後、在宅医療介護連携については、びーよんネットを個々が活用し、医師等と様々な情報交換ができるとよりよい在宅支援につながると思います。
- 令和2年度はコロナ禍で予定していた事業が実施できない状況が続きましたが、犬山市ではオンラインを導入して多職種連携会議を行う、さらさら秋桜健康展を開催して啓発を行うなど、連携の歩みを止めないような創意工夫が多く取り入れられていました。令和2年度以降の活動につながることと期待しています。
- 専門的な立場から話し合っただけではいきませんが、地域住民が置き去りにされている感じは否めません。地域住民の考えや地区ごとの課題など、地域の声が聞ける機会があると良いと思いますし、住民参加型の取り組みが将来的に広まると良いと思います。
- 令和3年介護報酬改定で、医療介護関係者のみで実施する会議や多職種連携に関してテレビ電話等の活用が認められましたが、可能であればテレビ電話活用に関して各医療介護関係者の皆様のお考え（積極的に活用していきたいのか？など）をお聞きしたいです。今後の活動の参考にさせていただければと考えております。
- 各専門職種の役割を地域住民がより理解できるとお互いにとって良いと思います。
- コロナ禍で交流する機会が減り、ご高齢の方が自宅にこもってしまっているのではと心配しています。ITも使えない方が多いと思うので何か対策が必要だと思います。
- 事業の根本的な位置づけや内容について再確認できるとありがたいです。
- 対面型、集合型の事業は実施を見合わせるが多一年でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止策としては良かったと考えます。今後も状況に合わせた事業内容を検討していきましょう。

<事務局からの回答>

- 今までの会議において出た意見や地域の課題、在宅医療介護連携推進事業の事業内容や当協議会の位置づけ、認知症初期集中支援チームの事例などについては、直接ご説明をしたいと考えております。次年度、新型コロナウイルス感染症が終息せず対面式の会議が難しい場合は、書面会議ではなく、オンラインによる会議を開催したいと考えておりますので、対面式会議・オンライン会議にてご報告の機会を設けさせていただきます。
- 在宅医療介護連携推進事業については施策の組み立て段階から住民を巻き込んでいく仕組みが今のところないというのが現状です。しかし、地域住民と直接会話し、生の声を聞くことができる場として（生活支援体制整備事業として実施している）第2層協議体や、（今後認知症施策として設置に向けて動く予定）チームオレンジなどが活用できると思われまます。様々な機会を活用し、住民の声をできる限り施策に反映できるよう工夫していきたいと思ひます。
- テレビ電話等の活用について尾北医師会に確認したところ、医師会会員向け NewsLetter（5月号）にてオンライン診療の周知を行ったものの、質問や相談はなく、活用に関する意向は不明というのが現状とのことでした。また、オンライン診療も導入した実績は不明とのことです。実際にテレビ電話や ICT を活用していくためにはソフトやセキュリティ面での強化が必要になるため、普及には時間がかかるかもしれません。
一方、先日犬山あんしんネットワークの会（多職種連携会議）を平成26年度の会の開始以降初めてオンラインで開催させていただきました。終了後のアンケートではオンライン会議の活用については前向きな意見が多くありました。今後、犬山あんしんネットワークの会にて関係者の皆様に意向を伺うことも可能です。
- 今年度は、ケーブルテレビを利用した介護予防教室の放送、地域包括支援センター職員が出演・制作した健康体操 DVD の配付など、IT に苦手意識を持っている高齢者に対してのアプローチも試行錯誤の上実施しました。次年度以降の事業についても良いご提案がありましたらお聞かせください。

（3）認知症施策について（資料5）

認知症施策に関する報告

<委員からの意見>

- 地域でも高齢独居老人世帯が多くなり、本人が認知症になったとしても、自主的に相談できる体制が難しい場合、地域でどうアプローチして、支援していくか。そのようなシステムを作っていく必要があると思ひます。
- 認知症初期集中支援チームの支援事例をお聞きしたいです。
- 認知症初期集中支援チームの支援事例について、一般市民の方にも周知できるとより理解が深まりやすいと思ひます。
- どのようなケースに対応しているのか、ぜひお聞かせ願ひたいです。
- 今年度は、感染症対策に伴う接触の自粛で、高齢者あんしん相談センターにおいても積極的な訪問や認知症サポーター養成の開催ができず、啓発活動も消極的になっ

てしまいました。しかし、市が行ったタウンミーティングをはじめ、オンラインでの発信はとても良い事業だと感じました。地域住民からもよい反応がありました。高齢者あんしん相談センターとしても次年度に向け啓発方法を考え、Zoom等で発信できるよう考えていく必要を感じます。

- 交流する機会が減れば、認知症のリスクも上がります。感染対策を行いつつ、交流できればと思います。
- 認知症カフェや地域サロンの再開について感染症対策との兼ね合いで難しいと思いますが、ある程度の道筋をお示しいただけると私共事業所も動きやすくなります。よろしく願いいたします。
- オンラインによる開催などは良いと思います。また YouTube にて配信しているとのことにて拝見させていただきます。
- 認知症サポーター養成講座が継続され、新たにサポーターが増えたことは地域の見守り強化につながると思います。
- オンラインによるタウンミーティングの開催が良かったと思います。動画を拝聴し、一人一人のご体験と思いを深くお聞きできるこのスタイルも新たな発見に繋がると思いました。見逃し配信でいつでも視聴できるスタイルは幅広い世代に観ていただけるために効果的だと思います。

<事務局からの回答>

- 本人や家族からの相談を待つだけでなく、地域住民や民生委員児童委員、生活を支えている民間企業、医療・介護の関係者など、本人に関わる多くの人たちのゆるやかな見守りの中で早期介入・支援の糸口を発見していくことができると良いと考えております。

認知症サポーター養成講座やステップアップ講座、地域サロンにおける健康教育等で相談窓口の周知を行っていくこと、見守り支援ネットワーク協定事業所を増やしていく働きかけなど、地域で認知症の方を見守り支える仕組みを強化していきたいと思っております。

- 次年度以降も、新型コロナウイルス感染症の流行の動向をみながら各種施策を進めていくと思われまます。将来的には、国が示す「チームオレンジ」の立ち上げに向け動いていきたいと考えておりますので、関係機関の皆様におかれましても、社会資源の情報提供やチームオレンジの一員としての活動などのご協力をよろしくお願いいたします。

令和 3 年 3 月 31 日

上記に相違ないことを確認する。

(署名)

(署名)

令和2年度第2回犬山市在宅医療介護連携推進協議会（書面会議）次第

1. 報告事項

(1) 犬山市在宅医療介護連携推進協議会名簿について（資料1）

この度、犬山市訪問看護ステーションの水野委員が一身上の都合により退任されました。後任委員には、犬山市内での活動実績等を考慮し、はるか訪問看護ステーション梅田まゆみ様に委嘱をさせていただきましたのでご報告させていただきます。

なお、会長・副会長については対面会議が再開した後に、選出する場を設けさせていただきます。

(2) 在宅医療介護連携推進事業について（資料2）

犬山市における令和2年度の事業報告をさせていただきます。

新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、対面型・集合型の事業に関しては実施を見合わせる年多い一年となりました。一部事業において、オンライン会議へ変更し実施しましたが、来年度以降も感染症の拡大状況をみながら、事業内容を検討していきたいと思っております。

(3) 令和2年度尾北医師会在宅医療介護連携推進事業について（資料3）

尾北医師会管内における令和2年度の実施報告です。

(4) 認知症施策について（資料4）

犬山市における令和2年度の事業報告をさせていただきます。

在宅医療介護連携推進事業同様、一部事業をオンラインにて開催にするなど、事業の形を変更し実施しました。その一つとして、2月13日タウンミーティングをオンラインにて開催しました。認知症の高齢者を地域でどのように見守るか」をテーマに市民と市長が対談をしております。市公式Youtube「ONE CHAN」にて見逃し配信がされておりますので、委員の皆様におかれましても住民・企業・地域の生の声をぜひ聞いていただけると幸いです。

■犬山市公式 YouTube 「ONE CHAN」

犬山市タウンミーティング～認知症高齢者をどう地域で見守るか～

2. その他

来年度については新型コロナウイルス感染症の影響がどの程度か予測がつきませんが、社会や環境が変われば、新しい取り組みや、より細やかな連携がさらに求められると思います。

1年間を振り返り、各団体の状況や今後の事業についてご報告・ご提案等がありましたらぜひ返信用紙にてお聞かせください。（3月12日〆切）

よろしく願いいたします。

犬山市在宅医療介護連携推進協議会委員名簿

(任期:令和2年7月1日～令和5年6月30日)

	名前	所属団体	所属機関
1	安藤 通泰	尾北医師会 犬山支部	安藤医院
2	板津 孝明		いたつ内科クリニック
3	桑原 生秀		くわばらクリニック
4	鈴木 欣宏		結ファミリークリニック
5	杉浦 隆	犬山扶桑歯科医師会	すぎうら歯科
6	原 宏太郎	尾北薬剤師会 犬山支部	はぐろ薬局 塔野地店
7	梅田 まゆみ	犬山市内訪問看護師	はるか訪問看護ステーション
8	大澤 敬太	犬山市内医療機関ケースワーカー (尾張北部第1ブロック)	さとう病院
9	多治見 恵	犬山市介護サービス事業者協議会 介護事業所	グループホームはなえくぼひくみ
10	村上 貴宣	犬山市介護サービス事業者協議会 介護支援専門員	ケアプランセンターともいき
11	武藤 知恵	犬山市内地域包括支援センター	犬山南地区 高齢者あんしん相談センター
12	大藏 真弓	尾北医師会地域ケア協力センター	尾北医師会地域ケア協力センター
13	彦田 聖士	愛知県江南保健所	愛知県江南保健所

事務局:犬山市健康福祉部高齢者支援課

在宅医療介護連携推進事業について

1. 令和2年度 犬山市在宅医療介護連携推進事業 事業報告

(1) 犬山あんしんネットワークの会（多職種連携会議）

顔の見える関係づくりを目的に、医療・介護関係者が集まりテーマに沿って研修会やグループワークを実施。例年、2～3回開催をしていたが、今年度はオンラインによる開催を3月に実施予定。

*日 時：令和3年3月24日（水）

昼の部 14:30～15:15 夜の部 19:00～19:45

*場 所：オンライン開催 Zoom 使用

*内 容：～オンライン研修に慣れよう～（コロナ禍の活動について交流）

◆近年の開催状況

日 時	テ ー マ	参加人数
平成30年9月28日(金)	支え合いの体制づくり紹介、地区別グループワーク	53名
平成30年12月12日(水)	びーよんネット活用事例発表、操作デモンストレーション	58名
平成31年3月26日(火)	アドバンス・ケア・プランニングに関する研修	45名
令和元年11月16日(土)	医療職・介護職としての防災対策を考える	49名
令和2年2月15日(土)	アドバンス・ケア・プランニングに関する研修 第2弾	51名

(2) 在宅医療・介護に関する住民への普及・啓発活動

①犬山市秋桜健康福祉まつりでの周知

毎年、犬山市秋桜健康福祉まつりにおいてブース出展（在宅医療・介護に関するクイズ、専門職による相談コーナー、啓発グッズ配付等）を行っていたが、今年度はまつり自体が中止。

代わりに、10月29日～11月8日に市民健康館さら・さくら交流ホールにて、在宅医療・介護に関するポスター掲示を尾北医師会地域ケア協力センターが実施。



②出前講座

令和元年度に尾北医師会地域ケア協力センターが住民啓発ワーキンググループの協議を経て作成した啓発用 DVD「もしも、あなたの大切な人が倒れたら」を活用し、在宅医療・介護に関する出張講座を実施していたが、今年度は全て中止。

◆近年の開催状況

日 時	対象者（場所）	参加人数
平成 31 年 1 月 31 日(木)	橋中「わ」の町カフェ（橋爪中公民館）	21 名
令和元年 11 月 14 日(木)	昭和会（グリーンハイツ集会所）	39 名

③その他住民周知

- ・ 11 月 1 号広報に人生会議に関する記事を掲載。

「人生会議」を しておきましょう

「人生会議」とは、もしものときにあなたが望む医療やケア、大切にしてほしいことをあらかじめ考え、家族や信頼できる友人、医療者や介護者など、周囲の人々と話し合っておくことをいいます。

万が一あなたが言葉で思いを伝えられなくなっても「人生会議」をしておくことで、あなたが望む医療やケアを受けることができます。また「この選択でよかったのだろうか」という家族の心の葛藤を減らすこともできるでしょう。

厚生労働省は、11月30日を“いい看取り・看取られ”について考える「人生会議」の日としています。

この機会に、あなたの将来の希望について身近な人へ伝えておきましょう。

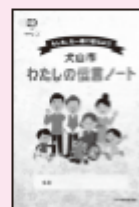
活用してください

「わたしの伝言ノート」

自身の思いを伝えるツールとして、犬山市版エンディングノートを市役所1階高齢者支援課で無料配布しています。

「どんなことを話し合ったらいいかわからない」「思いを形に残しておきたい」という人はぜひ活用してください。

もしものときの治療方針や告知の希望、葬儀やお墓のことなどを書くことができます。



問合せ 高齢者支援課 (TEL44-0325)

- ・ 犬山市ホームページ「在宅医療や医療・介護の連携に関すること」のページを見直し（前回の会議にて紹介）。

令和3年2月

犬山市在宅医療・介護連携推進協議会 資料

尾北医師会 地域ケア協力センター

令和2年度 尾北医師会在宅医療・介護連携推進事業の実施状況報告

▶ 令和2年度の重点目標

- ①防災・避難支援ワーキンググループにおいて抽出した課題を基に、災害時に支援を必要とする在宅の介護保険第1号被保険者、第2号被保険者への防災及び避難支援体制を整備する。
- ②犬山市、江南市、大口町、扶桑町において、医療・介護専門職と協働し、地域住民及び医療・介護専門職へのアドバンス・ケア・プランニング啓発グループを組織化し、市町ごとに周知を継続していく体制を整備する。
- ③在宅医療・介護連携の推進状況を評価し、行政・医療介護専門職と協働して課題及び今後の事業展開について検討する。

▶ 事業計画

(ア) 地域の医療・介護の資源の把握

内容	実施回数
①尾北医師会ホームページ「在宅医療提供医療機関の検索システム」	随時更新
②地域の医療・介護資源マップ「医療と介護の連携ガイドブック第3版」の作成	令和3年 2月配布

(イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討

尾北医師会管内在宅医療・介護連携推進事業運営協議会	2回
---------------------------	----

(ウ) 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進

①訪問診療医紹介システム周知	尾北医師会 HP掲載
②医師会員へ在宅医療促進のためのニュースレター発行	4回
③防災・在宅避難者支援検討会議	3回
・ICTを用いた情報共有訓練の実施	1回
・在宅避難者用リーフレットの作成	作成中

(エ) 医療・介護関係者の情報共有の支援 (ICTシステム「びーよんネット」運営)

①「びーよんネット」運営協議会	1回
②「びーよんネット」運営事務局	随時対応
③「びーよんネット」周知・体験会	実施なし

(オ) 在宅医療・介護連携に関する相談支援

①地域住民、医療・介護関係者からの受診・受療、在宅医療・介護、社会資源の活用等に関する相談室の運営及び周知	随時対応
②相談件数・相談内容を在宅医療・介護連携推進事業運営協議会において報告	2回

(カ) 医療・介護関係者の研修

①在宅医療研修会（多職種対象） 第1回 2020年度在宅医療の勉強会 多職種向け研修会 「チームで進める多職種連携の基本」 令和2年10月24日（土）13時30分～14時30分 （オンライン開催・希望者は会場参加） 第2回 「オンライン会議や研修に参加してみよう！！ ～Zoomで広がるコミュニケーション～」 令和2年12月10日（木）18時～19時 令和2年12月12日（土）13時30分～14時30分 第3回 「もっと教えて！！訪問看護師さん～訪問看護の利用と連携 のコツ～」 令和3年3月10日（水）【会場参加】 3月4日（木）～18日（木）【オンデマンド配信】	全3回
②自治体が実施する多職種連携の促進に関する研修会	実施なし
③介護支援専門員事例検討会	16回
④地域における看取り支援研修会（訪問看護師対象） 第1回 令和2年9月16日（水） 第2回 令和2年11月18日（水）	2回
⑤訪問看護ステーション同行訪問→中止	
⑥小児訪問看護の体制整備研修会 第1回 令和2年10月21日（水） 第2回 令和2年12月16日（水）	2回
⑦「ACP入門～ACPの基礎を学ぶ」web研修会 11月26日（木）～12月10日（木） 【オンデマンド配信、DVD貸与】	1回

(キ) 地域住民への普及啓発

①住民啓発ワーキンググループ	3回
②在宅医療・介護出前講座	4回（広域）
③住民へのアドバイス・ケア・プランニング（ACP・人生会議）の	

啓発 ・ACP 普及啓発委員会、ACP 実践ツール検討ワーキンググループ、 「人生会議」出前講座ワーキンググループの実施 ・住民向け人生会議啓発パンフレット	計8回 作成中
・広報犬山11月1日号 「人生会議」をしておきましょう 掲載	1回

(ク) 在宅医療・介護連携に関する関係市町の連携

①2市2町行政部会・部長会・担当者会議※	計6回
②在宅医療検討委員会	4回
③訪問看護ステーション連絡会	12回
④医療ソーシャルワーカー連絡会※	4回
⑤尾北地区ケアマネジャー連絡会※	3回
⑥地域包括支援センター連絡会※	3回
⑦尾北地区介護サービス事業者連絡会 事業運営委員会	3回

※行政部会・地域包括支援センター連絡会合同会議、行政担当者会議・医療ソーシャルワーカー連絡会合同会議、行政担当者会議・尾北地区ケアマネジャー連絡会合同会議を各1回開催予定

▶ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和2年度に行っている対策

- ①不特定多数の住民が集まる事が予測される講演会及びシンポジウムは中止した。
- ②一部の会議を書面開催として実施した。
- ③研修会及び一部の会議について、オンライン参加を併用している。
- ④訪問看護ステーション同行訪問は中止した。

以上

令和2年度 地域ケア協力センター在宅医療・介護連携推進事業 年間スケジュール

令和2年(2020年)

令和3年(2021年)

2021.02.10

資料3-2

事業区分	内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1. 尾北医師会管内地域の医療・介護資源の把握	在宅医療提供医療機関検索システムの更新	新規開業の医療機関に応じて更新											
	地域の医療・介護資源マップの作成(医療と介護の連携ガイドブック第3版)	作成決定	各団体へ依頼・項目検討		アンケート実施・校正・編集						完成・配布		
	地域の医療・介護資源マップ作成に向けたワーキンググループの設置	WG設置											
2. 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築支援	訪問診療医紹介システム	周知											
	医師会員へ在宅医療促進のためのニュースレター発行		第20号			第21号			第22号			第23号	
	防災・在宅避難者支援検討会議			第1回 8日【書面】				情報共有訓練 8日		第2回 14日			第3回 8日
3. 医療・介護関係者の情報共有の支援	「びーよんネット」運営協議会							第1回 29日(在宅医療・介護連携推進事業運営協議会)					
	「びーよんネット」事務局の運営	新規登録:7件	8件	9件	5件	7件	4件	2件	5件	3件	6件		
	「びーよんネット」の周知・体験会												
4. 受診・受療、在宅医療・介護連携に関する相談支援(医療・介護関係者、地域住民)		7件	6件	6件	5件	3件	2件	7件	3件	4件	6件		
5. 医療・介護関係者の研修	医療・介護専門職を対象とした在宅医療研修会							第1回 在宅医療の勉強会 24日		第2回 10日・12日			第3回 10日 オンデマンド配信4日～18日
	多職種連携研修会												
	介護支援専門員事例検討会			募集開始		アドバイザー連絡会1日【書面】 グループ・目標調整	17日・18日・30日	7日・15日・20日・27日	2日・19日	9日・18日	13日・21日・26日	9日・15日	評価アンケート
	地域における看取り支援研修会						第1回 16日		第2回 18日				
	訪問看護師育成研修会							小児看護 21日		小児看護 16日	同行訪問(中止)	訪問看護師研修会(中止)	
	アドバンス・ケア・プランニング検討会				第1回検討会議20日	出前講座WG 15日			ACP研修会(web) 11月26日～12月10日			第2回18日	
6. 地域住民への在宅医療・介護の普及啓発	住民啓発ワーキンググループ			第1回 18日【書面】		第2回 20日							第3回11日
	医療・介護関係者による出前講座				大口町1件			大口町1件	大口町1件 江南市1件				
	健康まつりでの在宅医療・介護の啓発							江南市(中止) 扶桑町(中止)	大口市(中止・ポスター展示) 大口市(中止・ポスター展示)				
	「人生会議」住民講演会・出前講座	令和2年度は中止											
7. 尾北医師会管内在宅医療・介護連携推進事業運営協議会	2市2町行政、医療・介護専門職団体の代表者による運営協議会 在宅医療・介護連携推進事業評価アンケート	第1回 23日【書面】						第2回 29日					アンケート実施 報告(R3年度運協)
8. 同職種連携・情報共有に向けた部会・連絡会	2市2町行政部会・部長会・担当者会議	第1回 23日(包括合同)【書面】				第1回担当者会議 6日		第2回担当者会議 22日(MSW合同)	行政部長会 5日		第2回行政部会		第3回担当者会議(CM合同) 15日
	在宅医療検討委員会		第1回 30日【書面】			第2回 5日			第3回 11日			第4回 10日【書面】	
	訪問看護ステーション連絡会	第1回15日【書面】	第2回20日【書面】	第3回17日【書面】	第4回 15日	第5回 19日	第6回 9日	第7回 21日	第8回 18日	第9回 16日	第10回 20日【書面】	第11回 17日	第12回 17日
	医療ソーシャルワーカー連絡会		第1回 19日【書面】				第2回 1日	第3回 22日(行政担当者合同)		第4回 1日【オンライン】			第4回 15日(行政担当者合同)
	尾北地区ケアマネジャー連絡会				第1回 29日			第2回 14日			第3回 13日		
	地域包括支援センター連絡会	第1回 23日(行政部会合同)【書面】						第2回 26日				第3回 22日	
	尾北地区介護サービス事業者連絡会 事業運営委員会		第1回 18日【書面】					第2回 5日【書面】					第3回 2日【オンライン】
9. 自治体が実施する在宅医療・介護関係者が参画する会議への出席及び助言・支援	大山市 在宅医療・介護連携推進協議会					第1回【書面】							第2回【書面】
	江南市 地域ケア推進会議					第1回【書面】		第2回【書面】					
	大口町 地域包括ケアシステム推進協議会・専門職部会・連携会議					地域包括ケアシステム推進協議会【書面】20日							地域包括ケアシステム推進協議会 16日
	扶桑町 在宅医療・介護連携推進会議									第1回【書面】			
10. 江南保健所が実施する地域包括ケアシステム推進に関する事業への出席及び協力													
11. 部署内・管内・管外の研修会等				尾張園ブリッジ運営委員会17日				尾張園ブリッジ運営委員会(Zoom会議)2日					尾張園ブリッジ運営委員会(Zoom会議)10日
その他	サービス事業者連絡会研修会	総会21日【書面】				第2回(中止)		特別企画研修(web研修会)9月9日～9月22日		第3回(web研修会)12月3日～12月17日		第4回(中止)	
	在宅医療・介護情報交換会					第1回 14日		第2回 8日	第3回 13日	第4回 10日	第5回 8日	第7回 12日	第8回 9日
	地域ケア20周年事業								合同シンポ22日(中止)		記念誌作成		第9回 17日

※新型コロナウイルス感染症対策として、令和2年2月～6月の期間、集合型の研修及び講演事業は中止し、会議は書面開催として実施した。9月以降の会議、研修は一部オンラインで実施している。
 ※4. 相談窓口件数の集計方法を変更したため、年度途中の報告件数と異なる月がある

認知症施策について

1. 令和2年度 認知症施策 事業報告

(1) 認知症初期集中支援チーム

認知症が疑われる人やその家族に対し、医療や介護の専門職員が早期診断・早期対応に向けた支援を行うチームを、平成29年度より総合犬山中央病院に委託。

令和3年度は委託先が結ファミリークリニックに変更となる予定。

◇令和2年度チーム実績（令和2年4月～令和3年1月）

訪問実人数	4人
のべ訪問回数	7回
のべ電話相談件数	14回
チーム員会議開催数 ※4・5・2月は中止	8回
支援終了者	3人

※どのようなケースに対応しているか、次回会議にてご紹介させていただきます（書面会議以外でご紹介します）。

(2) 認知症サポーター養成講座

認知症について正しく理解し、偏見を持たずに認知症の人やその家族を温かく見守る応援者「認知症サポーター」を要請する講座。例年より開催回数が少なかったが、感染症対策をした上で実施。

◇令和2年度実績

犬山市内認知症サポーターのべ人数 6,115人（令和3年2月末現在）

うち令和2年度中養成数 160人

対象者	回数	人数
一般市民	5回	64人
団体・企業 〔住友生命犬山支部 第一生命犬山営業オフィス(2回) 城東地区民生委員・児童委員〕	4回	96人

(3) 犬山市版認知症ケアパス

「あんしん生活ガイドブック～認知症の人も支える人も～」

平成30年4月1日に第2版を作成し、周知・啓発に利用している。この度、内容を見直したものを作成中。今後も適宜、内容の見直しを図っていく予定。

(4) その他

集合型の事業に関しては実施を見合わせ、もしくは規模を縮小して実施している（認知症カフェ、見守り訓練、地域サロン等）。見守りシール、GPS 機器貸出などの高齢福祉サービスは継続して実施。

◇令和2年度実績

- ①認知症カフェ「One カフェ」 開催見合わせ
- ②見守りシール事業 新規利用者数 6名
- ③徘徊高齢者情報提供サービス事業（GPS 機器貸出） 1月末登録者数 12名
- ④認知症に関する住民啓発

今年度のタウンミーティングを「認知症」をテーマに実施。

*日 時：令和3年2月13日（土）

*場 所：オンライン開催（市役所205会議室に観覧席設置）

*参加者：7名

市公式 YouTube「ONE CHAN」にて当日の対談を配信中

（約1,000回視聴されています）

*テーマ：「認知症高齢者をどう地域で見守るか」

- ⑤高齢者あんしん相談センターによる総合相談、本人の居場所の一つとして地域サロン活動を後方支援、地域の支え合い体制に関する整備事業を実施。